

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133602		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。									
事務事業名	国際交流協会支援事業							担当部局・課	市民部 国際・平和課			
事業内容	地域国際化協会である、伊丹市国際交流協会に対し、事業補助を行なう。							事業開始(予定)年度			A	
								昭和60年度				
								事業終了(予定)年度				
								—				
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち づくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現									
		項目	きめ細かな地域福祉の推進									
		施策	国際交流の推進									
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。											
事業の目的	地域の国際化進展により、ボーダーレス化された社会に適應する市民を育成し多文化共生社会を目指す当該協会を支援する。具体的には、会員(市民)や外国籍市民を対象に国際理解に関する講座や外国人市民との交流事業の推進をはかる。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 国際交流推進経費 (目) 企画費		
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)				
	事業費	400千円	財源内訳					事業費	360千円	財源内訳		
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—
			市 債		—					市 債		—
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—
			一般財源(市税等)		400千円					一般財源(市税等)		360千円
	投入人員	0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		
	人件費	6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		
	経費合計	7,253千円						経費合計	7,213千円			
活動指標	指標名(単位)	主要な協会事業参加率(%)						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	事業参加者数／協会见込み参加者数／×100							計画値	95	95	
									実績値	100		

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。